

日付	学科	学年	番号	名前
/				

第3章 2 「二項分布」「ポアソン分布」 第1回

1. 赤球 3 個と白球 1 個が入っている袋の中から、1 個の球を取り出し、色を調べてから袋に戻す。これを 4 回くり返すとき、赤球を取り出す回数を X とする。このとき、次の問いに答えよ。

(1) 確率変数 X はどのような確率分布に従うか。

(2) 確率変数 X の確率分布表について、i), ii) に入る数を求めよ。

k	0	1	2	3	4	計
$P(X = k)$	$\frac{1}{256}$	$\frac{12}{256}$	i)	ii)	$\frac{81}{256}$	1

2. 確率変数 X が次の二項分布に従うとき、 X の平均と分散を求めよ。

(1) $B\left(80, \frac{1}{2}\right)$

(2) $B\left(120, \frac{3}{4}\right)$

(3) $B\left(216, \frac{1}{6}\right)$

3. 赤球 3 個と白球 1 個が入っている箱から 1 個の球を取り出し、色を調べてから箱に戻す。この試行を 80 回行ったとき、赤球の出た回数を X とする。このとき、 $P(X = 20)$ を求める式を記せ。また、 $E[X]$ 、 $V[X]$ を求めよ。

例題 ある都市では、1 日当たりの交通事故数 X が平均 1.5 件のポアソン分布に従うと考えられている。このとき、交通事故件数が 3 件以上の発生確率を求めよ。

解 平均が 1.5 だから $\lambda = 1.5$ となる。 X はポアソン分布 $P_o(1.5)$ に従う。

$$P(X = k) = e^{-1.5} \frac{1.5^k}{k!} \quad (k = 0, 1, 2, \dots)$$

$$\begin{aligned} P(X \leq 2) &= P(X = 0) + P(X = 1) + P(X = 2) = e^{-1.5} \frac{1.5^0}{0!} + e^{-1.5} \frac{1.5^1}{1!} + e^{-1.5} \frac{1.5^2}{2!} \\ &= \frac{1}{e^{1.5}} \left(1 + 1.5 + \frac{1.5^2}{2} \right) = \frac{3.625}{e^{1.5}} = 0.80885 \end{aligned}$$

(もしくは、教科書 p.165 のポアソン分布表より)

$$P(X \leq 2) = P(X = 0) + P(X = 1) + P(X = 2) = 0.22313 + 0.33470 + 0.25102 = 0.80885$$

したがって求める確率は、 $P(X \geq 3) = 1 - P(X \leq 2) = 1 - 0.80885 = 0.191$

4. 自動車の通行台数が単位時間につき平均 1 台である道路において、単位時間に通過する自動車の台数を X とする。 X はポアソン分布に従うものとして、通過する自動車の台数が 3 台以上となる確率を求めよ。

例題 非常に多くの同種の製品の中に 2% の不良品が含まれている。いま、この製品の中から任意に 150 個を抽出するとき、不良品の数が 2 以下である確率を求めよ。

解 不良品の個数を X とすると、確率変数 X は二項分布 $B(150, 0.02)$ に従う。 $n = 150$ は大きく、 $p = 0.02$ は小さいことから、 $\lambda = 150 \times 0.02 = 3$ より、 $B(150, 0.02)$ を $P_o(3)$ で近似する。

$$P(X \leq 2) \approx P(X = 0) + P(X = 1) + P(X = 2) = e^{-3} \frac{3^0}{0!} + e^{-3} \frac{3^1}{1!} + e^{-3} \frac{3^2}{2!} = \frac{1}{e^3} \left(1 + 3 + \frac{9}{2} \right) = 0.423$$

(もしくは、教科書 p.165 のポアソン分布表より)

$$P(X \leq 2) \approx P(X = 0) + P(X = 1) + P(X = 2) = 0.04979 + 0.14936 + 0.22404 = 0.423$$

5. 副作用の確率が 0.1% の薬を 5000 人が服用したとき、副作用の出る人が 4 人以下である確率を求めよ。